

お問い合わせ  
佐賀県 文化・観光局 文化課  
TEL 0952-25-7236 E-mail culture\_art@pref.saga.lg.jp  
HIZEN5 ホームページ <https://hizen400.jp/wakayaki/> @hizen\_5

Online shopで  
他にもアイテムをCHECK!



※手づくりの一点モノのため、サイズ・形状や色合いに多少の違いがございます。

KARATSU  
IMARI  
TAKEO  
URESHINO  
ARITA



佐賀400年のやきものがたり





## HIZEN5とは

かつて肥前国と呼ばれていた唐津市・伊万里市・武雄市・嬉野市・有田町の

5つのやきものの産地と佐賀県が立ち上げたカジュアルブランドです。

もっとやきもの文化を楽しんでもらうために、それぞれの産地で、

肥前地域をよく知るプロデューサーと、各地域のパートナーになった文房具店の

知見や感性を掛け合わせ、「やきもの文具」が誕生しました。

日々の暮らしに寄り添う、個性豊かなやきもの文具をお楽しみください。

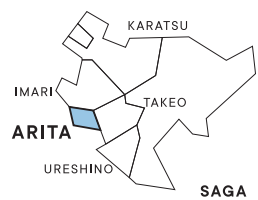


器の時より、  
手に馴染む。



# HIZEN5: ARITA 有田やきもの文具

日本最古の磁器と言われる有田焼。  
真っ白な磁器、華やかな絵柄が海外からも人気のやきものです。  
有田焼をもっと日常で楽しんでもらえるように、  
伝統品ならではの造形に機能美を取り入れ、  
“飾りたくなる”文具をつくりました。  
文具としてだけでなくインテリアにもなる有田文具で、  
暮らしを彩る素敵な時間をお楽しみください。

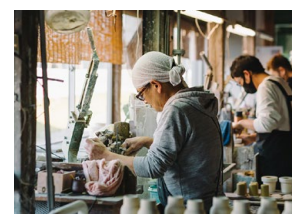


## 窯元情報



ぶんしょうがま  
**文翔窯**  
森田 文一郎/もりた ぶんいちろう  
文具からコンセントカバーなどインテリア製品まで食器以外のやきものを得意とするバイオニア的存在。常に新しい作品に挑戦する、有田の革新的職人の一人。

〒844-0017 佐賀県西松浦郡有田町戸杓  
西147-36 ☎ 0955-43-2392



とうえつがま  
**陶悦窯**  
今村 堅一/いまむら けんいち  
金彩・銀彩のカスリが美しい和モダンな器だけでなく、「家庭で使うもの」をコンセプトに暮らしの道具として生活空間を彩るやきものを生み出す。伝統を受け継ぎながらも時代に合わせ、やきものの魅力を提供している。

〒844-0027 佐賀県西松浦郡有田町南原  
甲778 ☎ 0955-42-3464



ふくじゅがま  
**福珠窯**  
福田 雄介/ふくだ ゆうすけ  
窯独自で調合した粹灰釉によって製品の特徴である優しい色合いと風合いを表現している。また窯が得意とする手描きの絵付け、特に下絵付と上絵付の両方の高い技術が問われる「染錦」も大きな特徴となっている。

〒844-0002 松浦郡有田町中樽2-30-16  
☎ 0955-42-5277



### 有田焼ガラスペン

3つの窯元によって生まれた、顔ぶれの異なる有田焼ガラスペン。上絵に金・白金(プラチナ)を施した、やきものみたくてやきものじやないような質感のペン。有田焼らしい呉須を使用した繊細な染め付けが施されたペン。白磁の本来の美しさを堪能できるペン。どれも有田焼の良さが詰まっていて、見るだけでも楽しくなります。やきものとしての美しさと機能性に優れたスタイリッシュなフォルムによって、インテリアとしても机の上に置いておくだけで様になる一品です。書く時間が少なくなった今だからこそ、特別な時間を特別な一本と過ごしてください。

1. 金塗りしぎガラスペン
2. 銀塗りしぎガラスペン
3. 金塗り三角ガラスペン
4. 銀塗り三角ガラスペン
5. 金かすりしぎガラスペン
6. 銀かすりしぎガラスペン
7. 染付花唐草紋三角ガラスペン
8. 白磁ガラスペン
9. 青磁ガラスペン
10. 薄墨ガラスペン
11. 瑠璃ガラスペン

### マステを 可愛く収納

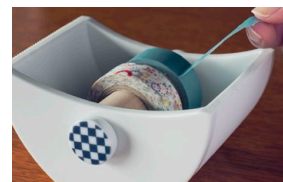
#### マスキングテープカッター 「モレンマ」

すべてやきものみで製作し、シンプルなデザインにすることで、お気に入りのマスキングテープを可愛く収納できます。引き立て役でありながらも、存在感のある磁器の美しさは伝統品の品格も備えます。機能性も高く、両側にテープカッターがあり、どちらの面からもマスキングテープをカットできます。その特徴を表すように、フィンランド語の“molemmat(=どちらも)”から「モレンマ」という名前をつけました。モレンマにどんな柄を収納しようか、マスキングテープを選ぶ時間も楽しくなります。



せいがいは  
青海波

広い海がもたらす恩恵を感じさせる文様。穏やかに打ち寄せる波がひたすらに連なっている文様には未来永劫へと続く幸せへの願いと、人々の平安な暮らしへの願いが込められています。



いちまつ  
市松

柄が上下に途切れることなく続いて行くことから、繁栄を表す。子孫繁栄や事業拡大など縁起の良い紋様として贈りものに最適です。



さんくず  
三崩し

室町時代末まで計算道具として用いられた算木が由来。木や竹などの植物を交差させた編目の「網代文様」とも呼ばれ、縄文時代から続く、編むという行為の人類の暮らしを支える象徴でもあります。